

# 縄文貝塚で遊ぼう! 吉胡貝塚史跡公園

施設のあらましを紹介します。



11月20日(火)  
オープン



吉胡貝塚のランドマークと呼ばれる大岩。昭和26年の調査の際に、考古学者たちが記念撮影をした場所です。皆さんもこの場から縄文人と同じ田縁で遺跡を見渡してみてはいかがでしょうか。

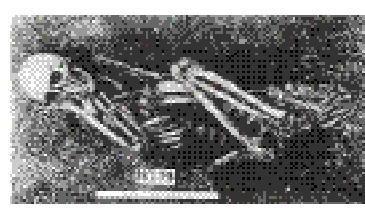
## ① 矢塙石



▼吉胡貝塚史跡公園案内図

縄文貝塚は、貝塚は4500年前の中期から大河原・田原城主・三宅康直が、文久3年(1863年)から慶応2年(1866年)まで隠居所としたといいます。当時の石垣も残っています。ちなみに、矢塙の地名の由来は、「矢川家康が射った矢が廻った先」特別な女性だったようです。

## ② 貝塚



縄文調査によると、貝塚は4500年前の中期に分布し、3か所以上の地点貝塚を含んでいたことがわかりました。貝塚の範囲は、公園内に石器で示されています。貝塚を発掘してみると、動物の骨、土器などの破片を発見しました。貝塚は、整備前まで畑として利用されていました。

## ③ 19号人骨出土場所

柱子から「19号人骨貝塚であったことが分かりました。



縄文調査で露出した吉胡貝塚で最も古い貝塚(縄文時代後期末~晩期初)を、そのまま保存処理してあります。これは、貝塚の骨、土器などの破片を発見したままの状態で見学できます。

## ④ 屋外平面展示施設

縄文調査で露出した吉胡貝塚で最も古い貝塚(縄文時代後期末~晩期初)を、そのまま保存処理してあります。これは、貝塚の骨、土器などの破片を発見したままの状態で見学できます。

## ⑤ 矢塙御殿跡

矢塙城主・三宅康直の御殿跡

矢塙御殿跡は、矢塙城主・三宅康直の御殿跡です。矢塙城主の御殿跡は、現在は公園内に石器で示されています。